

令和6年3月27日

南房総市議会議長 川上 清 様

総務委員会委員長 木曾 貴 夫

総務委員会所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務調査として「ふるさと納税について」調査を行った。このたび所管事務調査の活動を総括し、下記のとおり報告する。

記

1 はじめに

ふるさと納税制度は、市の貴重な収入、財源となるだけでなく、市の魅力発信や産業振興にも繋がる重要な施策だと考えられる。

そこで、本市の同制度における現状の分析はもちろんのこと、より工夫をこらし、魅力的な産品を提供し、結果として本市以上の納税額を獲得している他の自治体についても調査することで、今後の南房総市において様々な分野でプラス材料とすることが可能であり、非常に有意義であるとの考えから、テーマを「ふるさと納税について」として調査を行った。

2 調査の経過及び概要

(1) 市の現状と調査内容

はじめに本市のふるさと納税の現状を把握するため、企画財政課から「ふるさと納税のしくみと本市における寄付額の推移や登録業者の現状」等について説明を受け、その後ふるさと納税に関する本市のこれまでの取り組みと課題等について質疑応答を行った。

次に所管事務調査について、ふるさと納税の現状をふまえ委員から、まずは「南房総市を知ってもらう・来てもらう」ということを目的とした体験型の

ふるさと納税は、場合により移住につながるかもしれないし有効だと思われる。例えば、現在の「生産者・さとふるのような中間業者・納税者」という関係にプラスして、「ふるさと納税を増やすアイデアを集中させたり、生産者ができない部分をフォローし代行するような第三の組織を立ち上げることがふるさと納税の増額につながるのではないか。」というような提案があり、具体的な調査項目を、返礼品に係る登録事業者数と返礼品数及び内容とした。

続いて、調査項目に関する市内事業者実績について担当部署より説明を受け、市内における返礼品の注文数や寄付金額が増えている事業者及び返礼品の数（品数）が増えている事業者の中から、返礼品や加工品に当たっての工夫、これまでの取り組みや困っていること、さらに市への要望等を経営者から直接聞くために、有限会社重光、ハクダイ食品有限会社、株式会社近藤牧場の3事業者を委員派遣先として選定した。

(2) 行政視察

ア 有限会社重光

有限会社重光では、商工会や千倉の朝市に参加していた事業者などから、ふるさと納税について話を聞いたことがきっかけで、平成21年度の返礼品導入時から事業に参加している。先代からの教えである「脂身を甘くしなければ豚はうまくない。もちもちとした豚にすることがうまい条件。」と旨さを求め豚の飼育をしている。さらに料理する側の立場になり、小分けでトレイを使わずに送付を行っている。返礼品の中では特に房総ブランド豚の小分けパックが一番人気で、ふるさと納税をきっかけにリピーターも増えているとの話があった。

今後は、ふるさと納税を扱っている業者同士のつながりを深め、ネットに広告を出すなどの工夫が必要と考え、様々なPRができる南房総市全体の組織を作ってほしいと話されていた。

イ ハクダイ食品有限会社

ハクダイ食品は、江戸時代から続く食文化である鯨を守っていくため、鯨の刺身やタレ、ベーコンといった鯨に関する製品のほか、小骨を取った塩鯖や訳ありの鮭、数の子など、幅広い分野の海産物等を登録し、南房総ふ

るさと納税返礼品のトップである。

当時の市の担当者からの声かけをきっかけに、返礼品を出品した。市の担当者と密に連絡を取り、当然ほかの市の返礼品をいつもチェックしつつ、日々返礼品となるような新商品を考えている。

店舗以外にネットでも販売を行っているが、ふるさと納税は売り上げの中の1割はいかない。さらに、鯨の関係の製品は非常に売れているが、楽天は何年か前から鯨を売らなくなってしまった。

しかし、数ある商品の中でも、骨が抜いてある塩鯖の切り身や一切れの目方を量らない訳あり商品は売れている。現在は、返礼品額 5,000 円や1万円の返礼品の発送が、毎日 200 件くらいあるが暮れになると、大体 500 件ぐらいの発送をしている。

お客様から、「おいしい」という反応が1番嬉しく、「南房総市で数の子や鯨があるのか」とメールで問い合わせがある。父の代から作っていたことの歴史をお客様に返信することで、コミュニケーションをメールでやり取りしている。

ネットの世界は、やたら商品が多い方が検索されやすい。他業種の若い人には、これからは絶対に返礼品登録事業をやるべきと話されていた。

ウ 株式会社近藤牧場

株式会社近藤牧場では、頭数の少ない品種の乳牛でこだわりの牛を育て、商品の加工まですべて自社で行い、自社製品をブランド化していた。委託して、商品を作ったが、自分の求める味にならなかった。小規模の家族経営では、自分でもやりたいことがあり、体験を取り入れるには、時間がないため現状を拡大することは難しいが、ふるさと納税の利用者が「富楽里」に訪れ、集客につながり、乳製品のリピーターが増えている。

今後は、都会の富裕層を対象に当市の特産品（返礼品）を作り、商品に見合った価値で値段をつけることや、もっとリピーターを増やすために、商品を定期便で送ること、乳質を上げ自分で加工し付加価値をつけ、味の追求とインスタグラム等で宣伝効果を高めること、さらに、おおつの里総合加工施設を利用し、おおつの里総合加工施設に枇杷と乳製品の菓子作りを

依頼してはどうかと考えていた。



(写真) 市内事業者への行政視察

3 まとめ

南房総市のふるさと納税は、令和3年度3億9,000万円弱、令和4年度3億7,000万円強の寄附額であった。今後ふるさと納税による寄附額を高めるにはどのような取り組みが求められるのか。

(1) 調査の結果から考えられる課題

ア 専門部署の設置、組織作り

ふるさと納税の対応は、担当課及び担当係だけでは限界があり、効果が少ないのではないか。

ふるさと納税を扱っている業者のつながりを深めてはどうか。

ネットの中に広告を出すなど南房総市全体での取り組みが必要ではないか。

イ 業者数を増やす

ふるさと納税の返礼品を扱っている業者数が伸びていない。

訳あり商品を返礼品に扱っている自治体があるが、訳あり商品を扱うためには良い商品を大量に扱うことが求められる等デメリットがある。

お客様のニーズに応える努力はしてみたが、商品の提供者、提供量の確保が難しく返礼品として扱わなくなった。落花生やピワおよび花等があげられる。

ふるさと納税を扱う業者として楽天が最大手とのことであったが、その楽天に対して何か有用な働き掛けはできないか。個人が楽天との交渉することの困難さがあるのではないか。

ウ 富裕層をターゲットに

南房総市に興味を示す方が多くいることを感じている。そこで葉山や逗子のようなリゾート地を目指すなど、都会の富裕層を対象にした南房総市の返礼品を考えるのはどうか。

以上の調査結果を踏まえ、次のとおり提言する。

(2) 課題解決に向けた対策

ア ふるさと納税に特化した専門部署を設置する。

担当課だけでふるさと納税を扱うのではなく、南房総市の職員や市民からのアイデアを募集する調整役として、また、ふるさと納税の返礼品やふるさと納税に係わってもらう生産者を開拓するなど専門部署の設置が必要ではないか。

イ 地域おこし協力隊や市と連携している大学生を活用する。

市民の既成概念にとらわれない発想でふるさと納税を見直してもらうよう、新たな発想を求めてはどうか。

ウ 富裕層を対象にしたふるさと納税の返礼品を開発する。

THE MAGARIGAWA CLUB以外にも高級感を提供できる返礼品があるのではないか。また、その開発が必要ではないか。

ふるさと納税の調査を進める中で、今後、ふるさと納税の制度がどのように変化するかその動向を見ながらも、南房総市の産業の育成は欠くことができないことであり、南房総市ならではふるさと納税の返礼品開発に官民挙げて取り組んでいくことが重要である。

調査を通じ、(2) 課題解決に向けた対策事項を提言とし、総務委員会の所管事務報告とする。

5 所管事務調査活動状況

年月日	活動内容
令和4年6月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査についての説明 ・所管事務調査の実施を決定
令和4年9月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・調査テーマを「ふるさと納税について」に決定 ・閉会中継続調査を委員会で決定(本会議で可決)
令和4年12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部からの説明を受けた後、質問、意見交換を実施 ・具体的な調査項目や調査方法の協議 ・今後のスケジュールを決定
令和5年3月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な調査項目の協議決定
令和5年6月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者の実績について、執行部より説明 ・委員派遣先の協議、決定 ・派遣時期を決定
令和5年9月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員派遣承認要求書提出
令和5年10月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・行政視察(有限会社重光、ハクダイ食品有限会社、株式会社近藤牧場)
令和5年12月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・調査のまとめ ・課題提起や問題の解決策などの協議
令和5年12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提起や問題の解決策などのまとめ ・報告書の作成について説明と担当者の割り振りを決定
令和6年3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書案協議。報告書決定 ・議会で報告することを決定

6 所管事務調査での参考資料

【令和4年12月12日配付】

- ・ 令和4年度南房総市議会総務委員会 所管事務調査質問に対する回答
- ・ ふるさと納税制度について
- ・ 広報みなみぼうそう 6月号
- ・ 千葉県南房総市（ふるさと納税お礼のカタログ）

【令和5年3月8日配付】

- ・ 人気お礼品おすすめランキング（週間）ふるさと納税サイト「さとふる」

【令和5年6月12日配付】

- ・ 所管事務調査内容
- ・ ふるさと納税のうなぎ特集（ふるさとチョイス）
- ・ 寄付者のニーズに沿った返礼品